

【全体概要】

富山県では、WCS用稲の作付面積が拡大傾向にある中、主に「コシヒカリ」等の主食用米が作付けされているが、牛の飼料としての消化性や栄養価に課題があった。そこで、これまで県内で栽培実績の無かった高糖分・茎葉多収で耐倒伏性の高い稲WCS専用品種の栽培及び給与を実証し、WCS用稲の生産・給与技術の確立を図る。

また、飼料用米の品種や施肥方法等が異なる場合の栄養成分を調査し、適切な飼料給与に活用できる技術の確立を図る。

新品種・新技術等の概要

①稲WCS専用品種の栽培及び給与実証

- 実証品種
牛の飼料に適した高糖分・茎葉多収で耐倒伏性の高い稲WCS専用品種「つきすずか」
- 実証内容
・収穫時期・収穫方法の検証
・乳用牛への給与実証



専用収穫機による稲WCSの収穫

②飼料用米の栄養成分の把握及び飼料給与への活用

- ・品種や施肥方法等が異なる場合の飼料用米の栄養成分を調査
- ・栄養成分に基づく適切な飼料給与に活用



飼料用米のフレコンと破砕機

主な取組内容

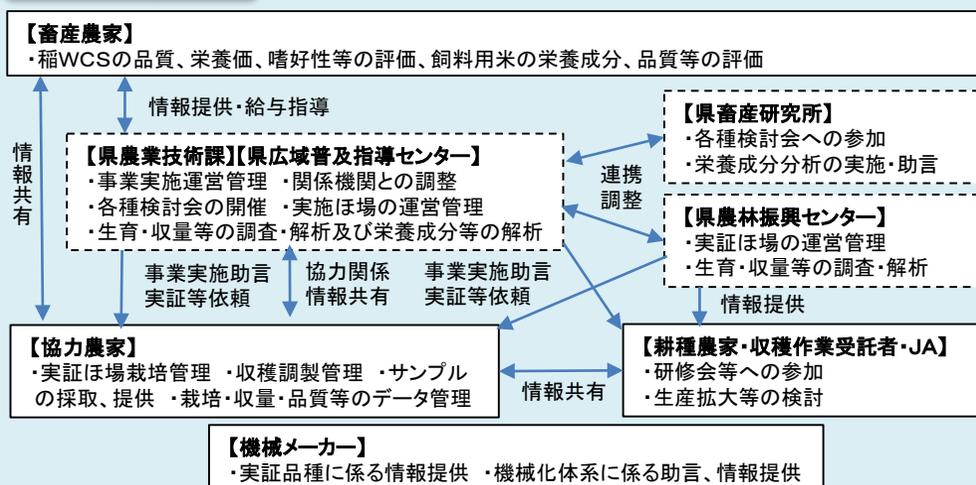
①稲WCS専用品種の栽培及び給与実証

- 【研修会・先進地視察】
・外部講師による品種特性と栽培方法の研修会（県内）と先進地視察（広島県）
- 【栽培・給与実証】
・富山市内8haのほ場で栽培実証。収穫方法・収穫時期の違いが飼料成分に及ぼす影響の検証。乳用牛に給与した時の乳生産・血液性状に及ぼす影響の検証。

②飼料用米の栄養成分の把握

- 【栄養成分の調査】
・農協、飼料用米推進協議会、耕種農家、畜産農家の飼料用米について、品種や施肥方法等が異なる場合の蛋白含量等を分析調査し、栄養成分を把握。

実施体制図



課題と今後の対応

①稲WCS専用品種

- ・収量が多く、飼料成分、嗜好性も良好であることが確認できたが、更に安定生産につなげるための施肥方法について改善すべき点があったことから、R2年度は施肥方法を改良し、栽培及び給与実証を継続する。
- ・R3年度の栽培面積拡大に向け、耕種農家への周知と栽培希望農家に対し研修会を開催する。

②飼料用米

- ・調査した飼料用米の栄養成分は、日本標準飼料成分表(2009年版)の成分値とほぼ同じことが確認できた。堆肥施用や施肥方法等による蛋白含量の把握や栄養成分に基づく適切な飼料給与に活用する。